

当初・変更

工事執行機関 41520 県中流域下水道建設事務所

入札（見積）執行調書
入札（契約）結果書

年災		事項		契約	平成28年8月1日
工事番号	16-41520-0010	工事名	流域下水道維持管理（汚泥放射能対策）工事	着工	平成28年8月1日
入札執行年月日	平成28年7月27日	発注種別	14 機械設備工事	完成	平成29年3月17日
審議番号	公所	000000	本庁		
路線・河川名	県中浄化センター			予定価格	
工事箇所	郡山市日和田町高倉 地内			121,946,040	
至					
工事概要	汚泥溶融施設 排ガス分析装置改築 更新 N=一式				

業者コード 業者名	落札者の住所		
	入札額及び再入札額		落札額（契約額）
100000517 水ing（株） 東北支店	仙台市宮城野区榴岡2-5-30 SFI 仙台ビル7階		
	(1) 109,500,000	(2)	118,260,000
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。

※ 測量等の場合、「工事名」とあるのは「業務名」と、「工事箇所」とあるのは「業務箇所」と読み替えるものとする。

随意契約理由書

随意契約とする具体的な理由

県中浄化センターの汚泥熔融施設は、平成 14 年度に供用が開始された施設で、日最大 70 t の汚泥処理能力を有している。放射能に汚染された下水汚泥の処分先が限定される現状においては、特に重要な施設となっている。今回工事の排ガス分析装置は機器本体が製造中止となっており、本装置が故障すると熔融炉の運転が不可能となることから改築更新を実施するものである。本施設の特長性は以下のとおり。

- ① 施設全体を放射線管理区域に指定し、作業従事者についても被爆管理をしながら運転を継続している。
- ② 本工事は、熔融炉の点検期間中に排ガス分析装置の改築更新を行うもので、限られた期間かつ放射線管理区域内の工事になることから、汚泥熔融施設の構造や運転方法、放射線管理に熟知している必要がある。
- ③ 水 i n g 株式会社は、当該汚泥熔融施設を設計及び設置をした業者であり、運転管理についても施設が稼働して以来現在まで行っている。

見積書を徴する相手方の選定理由

当該施設の特長性、放射能の影響等を踏まえると、水 i n g 株式会社は本工事を施行しうる唯一の業者であると考えます。また、適格者が限定されることから、単独見積による随意契約としたい。

地方自治法施行令の該当条項

地方自治法施行令第 167 条の 2 第 1 項第 2 号

「その他の契約でその性質又は目的が競争入札に適さないもの」

福島県財務規則施行通達第 269 条関係 1-(3)

「契約の内容又は性質上、2 人以上の者から見積書を徴することが不相当であるとき」

見積書を徴する相手方

仙台市宮城野区榴岡 2-5-30 水 i n g 株式会社 東北支店長 風呂 光国